

JSCA九州

発行・日本建築構造技術者協会九州支部
 事務局：福岡市東区香椎駅東1-38-6-103
 TEL 092-692-8738 / FAX 092-692-8739
 Web Site : <http://jscakyushu.jp/>
 E-mail : info@jscakyushu.jp

2011年巻頭言



支部長

鹿島建設(株) 尾宮 洋一

あけましておめでとうございます。今年は兎年です。

昨年の巻頭言で、2010年は景気が底を打ち、徐々に回復への対策が効果を上げてくると書きました。個人的には、政治のもたつきにより、景気回復の足を引張ったのでは、と感じていますが、皆様は、どのような感想をお持ちですか。

さて、J S C A 九州支部は、昨年、セミナーや勉強会を各地区で活発に行い、技術者としての基礎体力を蓄積する活動を行ってきました。各セミナーを企画・実施された担当者の方々に感謝いたします。その担当者の中に、今後を担う若手構造設計者が、多く見られるようになってきました。それと同様に、セミナーの参加者にもこれから構造設計を目指す若手（女性も）の顔が、増えてきたように感じます。

また、設計者以外との交流ということで2年続けて昨年も、九州鉄鋼工業会青年部とJ S C A 九州支部の青年部・なでしこ会との合同交流会や鹿児島へ建物見学会ということで遠征を開催し、他業種との連帯の輪を広げつつあると実感しています。

一方、若手とベテランを結び付ける企画として昨年は、元九州支部長の浜田さんに「私の構造設計履歴書」と称して自由な発表のセミナーを開催しました。若手には、所属を超えたベテランの意思を汲取る場として、ベテランには設計の楽しさや責任・思い入れをリレーする機会となることを期待し、この企画を継続していくたいと考えています。

九州支部は、技術委員会をはじめ各委員会では、見学会・講習会・他団体との交流会と活発な活動を行っています。今年も支部会員の増強を進めながら、会員各自が問題意識を持って、それを解決する場として、JSCA 九州支部を自主的に利用していただきたいと考えます。

最後に、事務局をお願いしている山下さん、渡辺さん、重松さん、新井さん、奥間さん、日々の支援に感謝しております。九州支部の活動が、活発に行えるのも彼らの支えが不可欠です。同様に前事務局の山田さんも徐々に回復されており、今後の復帰を希望します。

会員のみなさまも、体には気をつけて、実りある1年を過ごしてください。



本年もよろしくお願い申し上げます。

JSCA 九州支部 役員一同

(社) 日本建築構造技術者協会 九州支部事務局

〒813-0012 福岡市東区香椎駅東1-38-6-103

SHOGO 構造設計

新年を迎えて



副支部長

(株)JE 構造設計 上瀧 邦宏

新年、明けましておめでとうございます。

一昨年にも書かせて頂いた話題ですが、昨年末、その年を表わす漢字として清水寺の管長が選んだ文字は「暑」でした。文字は「日本漢字検定協会」が公募で選ぶ「今年の漢字」の1位の漢字であり、2位以下は「中」「不」「乱」「異」「国」となっているそうです。私は時々山歩きをしますので納得ですが、やはりどんな話題もお天道様には敵わないようです。しかし、お天道様は暑く頑張っていましたが、世の動きは逆だった様で、相変わらず消費者物価は下落を続け、中国、ロシア、北朝鮮には政治の混乱を見透かされている様に振舞われ、景気の低迷と裏腹の円高には殆ど為替政策らしき手も打たれずと、「不」と「乱」の文字が大きくのさばっていた様に思われます。構造設計の業界を見ると、6年前からの大変化に上記の国状が重なり、これで「公共建物の耐震診断」が無ければとても乗り切れなかつたのでは、と振り返っております。ただ、その支えであつた「公共建物の耐震診断」も県単位で多少の差はあれ、ここ数年で殆ど終了して行くでしょう。将来を見据えてどのような方向に軸足を向けるべきか、そのためにJSCA九州支部に何が出来るかを考え、実行していくかなければいけない年になる予感がしています。

皆様にはこれまで以上のご協力をお願いして、新年の挨拶とさせて頂きます。



副支部長

(有)福岡構造 宮田 俊英

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、ご健勝の事とお慶び申し上げます。今年の冬は寒さが厳しく、大変な思いをされている方もいらっしゃるでしょうが、めげずに頑張っていきましょう。

さて、民主党政権の下で、1年4ヶ月を過ぎようとしていますが、一向に成果が見えてきません。昨年の国交省の建築基準法の見直し検討委員会にしても結局、何も纏まらず解散してしまいました。適応技術検討委員会が発足して年度内に適合性判定について一定の結論を出すとの事ですが、期待できないような気がします。学校施設等の耐震診断も今年度で一段落して仕事量が激減するのではと危惧しています。構造設計の分離発注を模索することも重要な事では無いかと考えます。国交省では、耐震化率90%を掲げその対策を具現化し、平成22年度 住宅・建築物耐震化緊急支援事業が昨年の年末からスタートしています。ここ2年位は、耐震診断等の業務も構造事務所だけでなく、他設計事務所が参入されてきていて品質および設計報酬等の低下が顕著になってきているような気がします。品質の維持・向上を身上として、世は相身互いの心が通じれば住み良い社会になるような気がします。

会員皆様の更なる発展を祈念いたします。



地盤系部会部会長

清水建設(株) 佐守 康司

新年明けましておめでとうございます。本年も皆様にとって良い年でありますよう祈念いたします。

昨年はJSCA九州支部地盤系部会として5回のワーキンググループ勉強会と、講習会を1回開催し、活発な部会活動ができたのではないかと考えております。特に昨年12月9日の西鉄イン福岡で開催された「地盤調査ハンドブック講習会」では約80名のご参加をいただき、九州の特殊な地盤と地盤関連Q&Aを中心に発表いたしました。講習内容が参加者の皆様の平素の業務の一助となることを願っております。平成23年も地盤系部会として、より実務に即した勉強会を積極的に継続していきたいと考えております。さらには各委員会や部会との交流を深めることによりメンバーの技術力アップを図り切磋琢磨の場として活用していきたいと思っております。

最後にJSCA会員の皆様のより一層のご活躍と健康をお祈りして、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願い申し上げます。



設計規準系部会部会長

(株)大林組 伊藤 義弘

新年明けましておめでとうございます。

建築士法の改正によって、構造設計一級資格制度が発足し、構造設計者には今まで以上に責任感、高い技術力及び倫理観が求められ、日々の研鑽がますます重要となっております。

昨年度は会員の技能研鑽・技術力向上のための講習会として、6月に(株)織本匠構造設計研究所 顧問 浜田氏を招いて「私の構造設計履歴書」と題した講演会、10月には構造設計一級建築士修了考查直前のスキルアップセミナーを開催しました。

本年度は、昨年と同様に「私の構造設計履歴書」の講演会第2弾、スキルアップセミナー等、会員皆様の構造設計者としての技術力研鑽、スキルアップの場を提供していきたいと考えております。

今後のご要望も含めて、会員皆様のご協力をお願い致します。



コンクリート系部会部会長

(株)竹中工務店 大塚 真裕

新年明けましておめでとうございます。昨年は、九州沖縄地区は緩やかな景気回復が続いているとの見方がある一方、建設業においてはその兆しが見えない厳しい一年でした。そのような中で、RC系部会では、来るべき時に備えて知識や技術を身に付けるべく、「高強度せん断補強筋を使用してひび割れ幅を制御した損傷設計」や「鉄筋コンクリート造の常時荷重下の課題と長期性能設計」等の講習会を開催しました。

また、品質管理の面からも学ぶべく、「鉄筋電炉工場」において、あまり見ることのない鉄筋の製造過程を見学し、どのような材料を使用し、品質管理を行い製造・出荷しているのかを学びました。さらに熊本最高となる地上36階建て、高さ約123mの超高層タワーマンション「ザ・熊本タワー」の作業所において、PCa架構の超高層・制震RC造の施工状況を視察し、品質管理の状況も学びました。

今年も定期的な講習会・勉強会及び見学会等を開催し、会員メンバーの知識・技術レベルの向上を図りたいと思います。

今後も会員皆様方のご意見・ご協力をお願い致します。





鉄骨系部会部会長

大成建設(株) 金子 文彦

鉄骨部会を任されて2年目で、やっと様子がわかつってきたような感じでいます。

鉄骨部会の活動としましては年に2回程度の講習会の開催等を目標にしており、昨年末に「鉄骨造建築物の柱脚及び大梁横補剛に関する勉強会」を開催し、有意義な講習会を行えたものと考えております。

今後の活動に関しましては技術的な方向の他に、鉄骨の流通等に関しても調べて行きたいと考えています。これはカタログの表記通りに流通されていない部分が見受けられ、S N材・S M材・S S材、高炉材・電炉材・高規格電炉材、裏サイズのロール材等に関して状況を把握しようと思っています。また技術面での講習会等は、若手の構造設計者を対象としたものを企画したいと考えています。



木質系部会部会長

川崎建築構造設計事務所 川崎 薫

新年 明けましておめでとうございます。

昨年（H22年）10月1日に、国は公共の低層建物に木材利用を拡大する為の「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」を施行しました。又、それに伴い、主に役所の担当者に対しての説明会も熊本で行われました。今年はコンクリートから木造への大きな構造転換元年となりそうな予感がします。

木質構造は材料自体が生き物で、計算通りに構造体が動くものではありません。木造部会では、“木質構造の許容応力度設計法について”を一昨年前から勉強会として続けてきました。今年も促進法の後押しもあり、昨年以上に多くの設計者に木造建物の設計法を理解して頂こうと思います。

昨年は木造部会員等の協力により、企画を順調に進めることができました。JSCA会員以外の方々も多数参加して頂いているおかげで、多方面からの意見や知識が情報として入手できる様になりました。これらの情報が設計時に大いに役立っていると思います。

今年は木質材料や木材関連の研究をされている先生を招き、材料となる木材自体の勉強も行ってまいります。

新規の企画も会員の意見等を聞きながら準備を始めたいと思います。これからも役立つ多くの情報を会員の皆様に提供していく様、ご協力を宜しくお願い致します。



特殊(PC)系部会部会長

オリエンタル白石(株) 内山 執樹

明けましておめでとうございます。昨年は日本建築センター「プレストレストコンクリート造設計施工指針」の改訂版である「2009年版プレストレストコンクリート造技術基準解説及び設計・計算例」が発刊されましたので、その勉強会を行いました。今年は日本建築学会より性能評価型の設計指針が発刊されるとのことなので、発刊に尽力をつくされた関係者の中から講師を招き同様な勉強会を開催したいと思っております。またPC造の良さを視覚的に体験していただく為、できるだけ現場見学会を開催していきたいと思っております。

当会の活動目的は、プレストレストコンクリート(PC)構造に関わる建築物やプレストレス力を利用した最新の工法などの情報をいち早く会員の皆様や行政に関わる方々、一般市民の方々に提供し、より良い社会資本の形成に役立つことにあります。そしてこの部会活動を通してプレストレストコンクリート構造のより一層の普及をめざすものであります。本年も特殊(PC系)部会を宜しくお願い申し上げます。



青年部会部会長

(株)日本設計 今林 光秀

私たち青年部は、福岡県内にとどまらず九州沖縄の仲間たち総勢42名となりました。

「若手のネットワーク作りと構造の楽しさ共有」の趣旨のもと、少しずつメンバーも増え、定期的に会合を行ってきました。また、遠方のため会合に参加できないメンバーにも情報共有ができるような仕組みを整理し、誰でも自由に参加できる若手主役の集まりとしてやっています。昨年は、鹿児島見学会を行い、鹿児島メンバーと有意義な交流を行いました。また、一昨年に引き続き、鉄構工業会九州ブロック青年部との意見交換会・懇親会も行い、鉄骨についての意識を高めているところです。さらに、東京で行われたJSCA構造デザイン発表会・シンポジウムにメンバーを派遣し、その報告会を行い構造デザインの楽しさを皆で共有しました。青年部のメンバーは他の部会や講習会にも参加し、自身のスキルアップも積極的に行ってています。

今年の予定は、数回の見学会(熊本・沖縄など)および構造デザインについての意見交換会を計画しています。



なでしこ会部会長

清水建設(株) 浅田 正子

2008年にJSCA九州の組織の一部として発足したなでしこ会（女性部会）も、2007年の発足前の勉強会から、3年半という月日が経過しました。現在、福岡・鹿児島・宮崎在住の21名の登録により会として存続させて頂いています。

JSCAの非会員層への情報配信を通じて、JSCAの活動を広めることを中心に細々と活動しており、2010年はかろうじて3回の会合を持つことができました。

支部長をはじめ、役員・幹事・各部会長の皆様からサポートを頂きながら意識の向上を目指しているところですが、日頃の業務に追われることの多い中、自主活動を活発に行えるところまでは発展しておりません。しかしながら、『何事も継続することが大切である』という、昨年の会合の中で先輩にあたる女性の構造技術者の方から頂いた言葉をかみしめて、少しずつではありますが活動を続けたいと思っています。



耐震改修促進委員会委員長

(有)ストリームデザイン 原 英基

新年明けましておめでとうございます。

耐震改修促進委員会では本年度の活動テーマを「中高層建物の耐震診断と耐震改修」と位置づけ、改修の遅れている主に中高層公共住宅を対象とした耐震改修の進め方について検討してきました。地区運営委員の方にもアンケート調査に協力いただきましたが九州ではまだ実績は少ないようです。

アウトフレーム工法・制震プレース工法など実績のある特殊工法の提案を関連企業に協力いただき3月には講習会を開催する予定ですのでご期待ください。

本年も委員会活動へのご協力よろしくお願ひいたします。

地区会報告



北九州地区

(有)パブレ建築事務所 森永 健

あけましておめでとうございます

北九州地区会は「北九州建築六団体」の中において北九州市建築行政と連携して建築(設計)活動を進めていく方針を取っています。この活動を通して職能としての構造設計を認知して頂くことを大きな目的としています。

昨年は例年行事を除いて、下記の事業を行っています。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 建築六団体新年賀詞の主催者 | 2. 北九州エコハウス勉強会 |
| 3. 施設設備・工作物の耐震講習会 | 4. ERIによる適判事例講習会 |
| 5. JIA全国大会(北九州)動員参加 | 6. 「産・学・官」が連携した講演会 |

今年は、年末に大きな反響を集めた(参加140人規模)意匠と構造のジョイント講演会で、大学生を取り込んだ『北九州市の「産・学・官」が連携した...』をシリーズ化して、建築六団体と共に建築行政に指導を仰ぎながら企画・活動して行きたいと思っています。

今年もよろしくお願ひします。



佐賀地区

江口建築設計事務所 江口 達実

昨年は、景気回復の兆しが見え隠れする中で、構造計算適合性判定の審査物件も徐々に増え、既存建物の耐震診断業務に忙しくした1年でありました。

佐賀地区会では新たに2名が増えJSCA会員15名に加え、佐賀県構造家連絡会のメンバーと連携し、講習会の開催並びに各団体への講師派遣などを行ってまいりましたが、計画をしていた若手育成の講習会を開催できなかったことを残念に思います。

主な活動内容は下記のとおりです。

- ①(社)佐賀県建築士事務所協会構造専門委員会委員派遣(5名)
- ②(社)佐賀県建築士事務所協会耐震強度検討部会委員派遣(3名)
- ③佐賀地区会総会(6月)
- ④技術基準解説書(黄色本)勉強会(9月)
- ⑤建築士のための総合研修会「地震安全性について」(9月)
- ⑥耐震診断講習会(9月)
- ⑦木造軸組構法住宅の構造計画に関する講習会(11月)
- ⑧適合性判定員として5名業務

今年は、若手建築士を対象として建築士事務所協会と連携し、若手技術者研修会の佐賀県版を開催する予定です。また、佐賀県で初となる免震構造の建物が建設中であり、現場見学会等を開催して構造設計への興味を持つ方を増やしていくべきと考えております。



長崎地区

(株)M-PLAN設計室 三根 啓一

あけましておめでとうございます。平成23年度の長崎地区会活動予定を報告します。

昨年11/19に長崎地区会の総会を開催し、本年度の活動方針を決定しました。

例会は2ヶ月に1回のペースで4、5回開催し、勉強会、見学会をおこなう予定です。又、構造設計技術者研修会を昨年よりスタートしており、6回シリーズで開催する予定です。4年に1度開催しています構造展（長崎バージョン）についても開催の要望もあり、今年度中にできないか、具体的な内容を例会でつめていきたいと考えています。耐震診断は昨年より減少する予定で、月50件程度のペースと聞いていますので、本来の構造設計にかけられる時間が多くなると思います。ただし、適合判定に上がる物件数は月10件程度で、まだまだ厳しい受注状況であるようです。

本年は少しでも明るい年になる様に願っています。



熊本地区

(有)澤村建築構造事務所 澤村 虎喜

平成22年度の熊本地区会活動報告を致します。

7月2日に地区総会及び講演会を開催しました。

当日は、日本設計九州支社長 許斐信三様より「構造の工夫と建築」と題して講演をして頂きました。内容は、九州内の建物及び工作物でPC鋼棒を使用して長大スパンを実現され、長期のたわみについて、理論による計算と実際設計された建物との比較でほぼ同じ値が確認されたこと等、興味深い講演でした。

7月23日には、九州支部第1回役員会が熊本で開催されました。

当日は、九州支部役員、熊本地区会員計40名の参加で支部長の挨拶で始まり、各委員会報告、各地区会報告では活発な意見交換が行われました。

9月2日には、支部RC部会主催で熊本駅前高層マンション現場見学会が開催されました。35階建RC造の制震構造で、柱・梁・スラブをPCa化し10日で1層のペースで躯体工事が進んでいることに驚きました。

11月13日には、熊本アートポリス構造シンポジウム（熊本県主催・熊本地区会共催）が開催されました。170名の参加でPC構造全般についての講演及び熊本駅前工作物（大屋根）の設計者による講演が行われました。翌日には見学会も開催されました。

今後も積極的に講演会、現場見学会等を開催したいと思いますので、御協力をお願い致します。



大分地区

(株)日構設計 高橋 正夫

明けましておめでとうございます。
大分地区会幹事を務めさせて頂いています 株式会社 日構設計の高橋でございます。

「光陰矢のごとし」と言われますが、あっと言う間に過ぎ去った一年間のように感じています。社会情勢は相変わらず景気の低迷が続いています。

就職難と言われる中で、若手の建築技術者が減少していることに不安をおぼえるのは私だけでしょうか。若手に希望を持たせるためには、今一度私達が頑張りこの業界の素晴らしいところを伝える必要があると考えます。

昨年度の最大の収穫は、大分地区会の念願であった、若手構造設計技術者の交流が実現したことです。九州支部で講義を受けた人が講師となり約25名の若手が集いました。今後は大分地区会青年部として構造技術者として切磋琢磨し、育っていく事を心から願っています。



宮崎地区

(株)志多組 川越 義雄

新年あけましておめでとうございます。
昨年は、行政担当者による確認対応講習会、適判担当者による構造講習会等の色々な活動が出来ました。また、若手の育成では講習会参加を呼び掛け常に3~4名の受講を得ました。皆様方のご協力誠にありがとうございました。

年明け一番には、支部長に無理なお願いをして構造講習会及び地区会員との意見交換会を計画しています。

宮崎地区会は年々会員も増え充実した会となってきています。今後は構造展、現場見学会、ゴルフ、山登り等に目を向けた幅広い活動が必要と思っています。「みんなのために」の強い意識があれば大丈夫です。

私は本年3月で事務局を4年、地区幹事を3年、計7年の貴重な経験させて戴きました。この間には耐震偽装事件、構造一級資格等の大きな変革がありました。思えば地区幹事を引き受けた4カ月後に、弊社の民事再生申し立てという大きな荒波を受けました。その時点では幹事を辞退しようと真剣に考えました。しかし、皆様方のご指導、ご協力により勤め上げることが出来ました。支部長様、役員の方々、地区会員の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。誠にありがとうございました。

本年も宮崎地区会をよろしくお願ひ致します。



鹿児島地区

(有)鹿建設 計 木場 正人

新年が始まりました。皆様、あけましておめでとうございます。毎年の事ですが、この時期は不安と期待に満ち溢れています。隣国の台頭、高齢化社会、ロボット社会、IT社会など社会構造が変化しつつあるなか、日本経済は、依然として厳しい状況にあります。政治は混迷を続けており、私たちも、自らの力で不況から抜け出すしかありません。

建築構造を取り巻く状況も、変わりつつあります。改革に混乱はつきものです。世の中の仕組みに合わせて、私たち自身がさらに変わらなければなりません。

平成23年3月12日は、九州新幹線全線開業になります。鹿児島から青森まで全線開通します。福岡と鹿児島中央間は最速1時間19分、新大阪と鹿児島中央間は3時間47分で繋がります。私たちの環境は、確実によくなっています。全国から、多くの人が鹿児島へ訪れる事を期待しています。

7月には、恒例の持ち回り九州支部役員会が鹿児島であります。役員会後の懇親会には、各地区からより多くの委員が参加して頂きますよう願っております。

本年、鹿児島地区会は、会員増強と技術力の向上を大きな柱として活動してまいります。



沖縄地区

(株)国建 花城 和雄

新年、明けましておめでとうございます。

といっても、既に激務の中！早、数ヶ月経ったかと錯覚しそうです。

さて、沖縄地区会ですが、昨年は、ここ数年来会費未納や活動実態に乏しい会員を重点に、改めて会員継続の意志確認を行って地区会運営の健全化を図りました。その上で、全会員を4班に分けた活動体制を再構築しました。

又、会員のスキルアップと活動参加の魅力作りを目的に、技術勉強会を定例会で行ってきました。これは今年も継続していきます。

さらに、本年から旧来の建築四団体合同新年会に沖縄地区会が正式に参加します。その為に、J S C A 沖縄地区会旗も制作しました。

本年前半の主な活動予定は以下の通りです。

- ・1月13日……建築関連団体新年会への正式参加
- ・2月25日……美里工業高校建築科での講話
- ・3月or4月……松井千秋氏講演会予定
- ・4月………地区会総会予定

今年は兎年、九州各県地区会の飛躍の年にしましょう！

新入会員紹介



氏名 東江 直司 (あがりえ なおじ)
 勤務先 株式会社 国建 (くにけん)
 所在地 沖縄県那覇市久茂地1-2-20
 趣味 ゴルフ、軟式野球の審判

自己紹介

構造設計という職業について20年以上経過しましたが、未だに『構造設計とは?』という答えを見つけることができず、新入社員に負けじと必死に仕事に励んでいます。昨年JSCAに入会したこと、多くの先輩技術者と交流を持つことができたことは、大きな財産となり今後の仕事に多大な影響があると感じました。これからも、JSCAの一員としてスキルUPに努め日々進歩していきたいと思いますので宜しくお願ひします。



氏名 片平 崇 (かたひら たかし)
 勤務先 株式会社 片平設計
 所在地 鹿児島市東谷山1-65-33
 趣味 自然浴

自己紹介

はじめまして。鹿児島で構造設計をしております片平崇と申します。以前よりJSCAの積極的な活動に大変興味を持っておりました。会員の皆様との交流を通して、生きた情報や幅広い知見を得たいと考え、この度入会させていただきました。何事にも興味をもって、前向きに学びたいと考えておりますので、何卒よろしくお願ひ致します。



氏名 田中 昭洋 (たなか あきひろ)
 勤務先 株式会社 コンステック
 西日本事業本部 福岡技術部
 所在地 福岡市博多区博多駅前1丁目21番28号
 博多駅前スクエア7階
 趣味 楽しいお酒

自己紹介

構造設計に係る会員の方々と交流を深める機会を頂いて、技術情報の交流や技術知識の向上を図り、今後の構造設計に活かしていくべきだと思っております。よろしくお願ひいたします。

編集後記

日がたつのは早いもので、はや1月も下旬となってしまいまし。やっと17号を皆様に届けることができ、安堵しております。編集前はあれこれ考えておりましたが、雑用に追われ今回もまた、満足できない結果となりました。取材へのご協力をお願いします。次回より、ご期待ください。☆★(森田 記)